

スポーツによるまちづくりについて

1 千葉市スポーツ推進計画（平成28年度～37年度）



<3つの重点事業>

（1）本市にゆかりのあるトップスポーツチームとの連携の推進

●主な取組事業

【トップスポーツとの連携による地域貢献活動】

千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド千葉等のトップスポーツチームやトップアスリートと連携し、地域貢献活動の支援を行います。

（2）東京オリンピック・パラリンピックの成功とスポーツ文化の醸成

●主な取組事業

【スポーツ文化を普及・発展させる取組】

次世代地元アスリートの支援、車椅子スポーツの振興と活動の拠点化を推進するとともに、オリンピック教育や開催7競技の普及・啓発を図り、大会機運の醸成やスポーツを取り巻く環境の向上を図ります。

（3）障害者スポーツの推進

●主な取組事業

【障害者スポーツ大会の開催・支援】

全国障害者スポーツ大会の参加支援だけでなく、車椅子バスケットボール、ウィルチェアラグビーなど競技性の高い大会の開催・支援を行います。

【障害者スポーツ指導員の養成】

障害のある方々へのスポーツ・レクリエーションの振興・普及を通じて、その健康の維持・増進や社会参加を進めるために、専門的な知識や技能を身につけた指導者の要請及び資質、指導力の向上を図ります。

スポーツを取り巻く環境の充実とあわせて、パラスポーツの普及促進を強化し、2020年のパラリンピック開催を契機として、障害のある人もない人も、スポーツを通じてともに交流・参加できる環境づくりを推進しています。

パラスポーツ

千葉市では、障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツを表す言葉として、「パラスポーツ」を使用しています。

2 パラリンピックの成功に向けて

現状：パラスポーツに対する理解、
関心は高まったが、行動に移せていない。

- パラスポーツに興味・関心がある人
20.6% (H26) ⇒ 42.2% (H28)
- パラスポーツ大会を会場で観たことがある人
4.5% (H28)

【データ出典】千葉市スポーツ推進計画策定に関わる市民意識調査(H26.12) 平成28年度第7回WEBアンケート(H28.10)

❗ 2012年ロンドンパラリンピック

史上最も成功した大会と評された

- ・観戦チケット270万枚販売（北京パラリンピックは約180万枚）
⇒パラリンピックへの関心が高く、多くの競技で観客席が埋まり、声援が送られた。

❗ 2016年リオパラリンピック

- ・観戦チケット210万枚販売
⇒最終的にはロンドン大会に次いで史上2位の売り上げ

幕張メッセでの2020年パラリンピック成功の鍵は、都市の力の結集



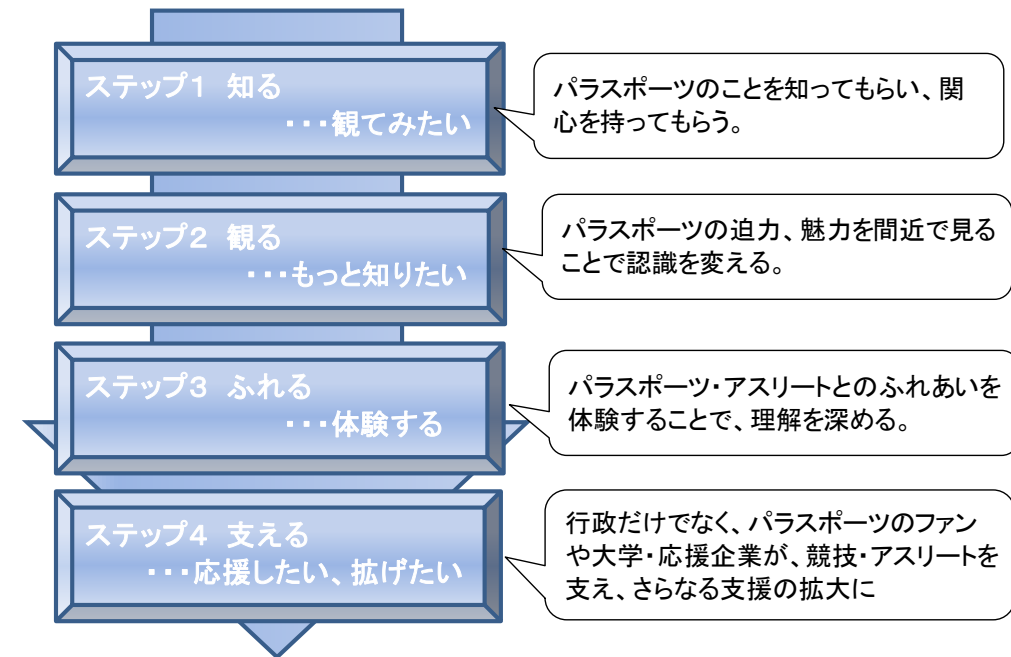
車椅子スポーツでの経験を活かし大会の成功



2020年以降は、パラリンピック効果によりパラスポーツの盛んなまちへ

<今もっとも必要なこと>

パラスポーツファンの拡大に向け、
各ステップの機会を創出する取組を推進



※千葉市行動計画【2017年度版】方向性3 3-1パラリンピックの成功に向けた取組の推進

<平成29年度の主な取組>

☆職員向け研修

- 新任課長研修（ゴールボール）
- 所属長研修（パラリンピック大会の成功に向けて）
- 教職員向け研修（ゴールボール、シッティングバレーボール）

☆機運醸成普及イベント

- オリンピック・パラリンピック3年前イベント
- パラスポーツフェスタちば
- 大学との連携による講座の開催

☆パラスポーツ（障害者スポーツ）の普及

- 障害者アスリートによる学校訪問
- 障害者を対象としたスポーツ体験会
- 障害の有無に関わらず、スポーツに親しむことができるスポーツ交流会

☆オリンピック・パラリンピック教育の推進

- パラスポーツを小中学校の授業の一環として展開
- パラリンピック関連題材・教材を使った道徳等授業の展開

☆市内で開催予定の大会を支援

- ジャパンパラウィルチェアラグビー競技大会（5月25日～28日）
- ジャパンパラゴールボール競技大会（8月4日～8月6日）
- ウィルチェアラグビー日本選手権（平成29年12月予定）
- 長谷川良信記念千葉市長杯争奪車椅子バスケットボール全国選抜大会（H30.3月3日、4日）

